

バラの花弁の形

剣弁咲き

花弁(=花びら)の先が尖っている。



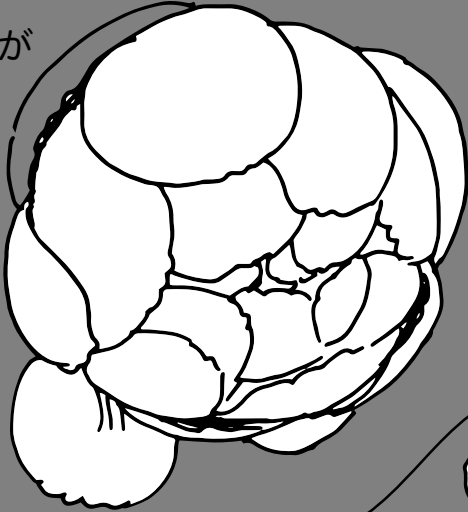
波状弁咲き

花弁のふちが波うつような咲き方。



花弁の先が丸い。

丸弁咲き



花弁の数

4~8 弁くらい...一重咲き

9~16 弁くらい...半八重咲き

17 弁くらい以上...八重咲き

★100 枚以上の花弁をもつものもある。

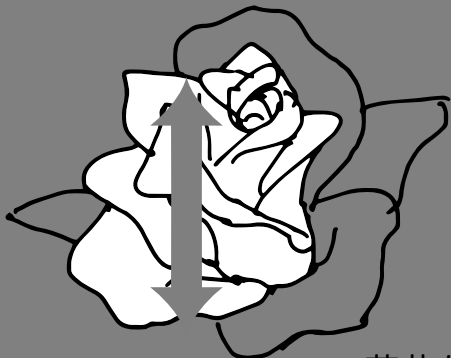
バラの花の形

平咲き

花の芯が高くない

花弁が内側へゆるくカーブして、横から見るとカップ状になる

カップ咲き

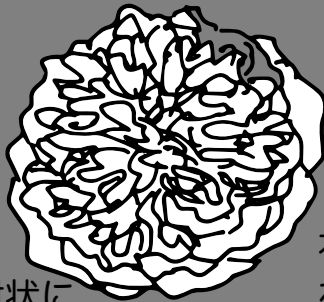


高芯咲き

花の芯が高い

花芯から花弁が放射状に伸びる。外弁より内弁が小さくなる。

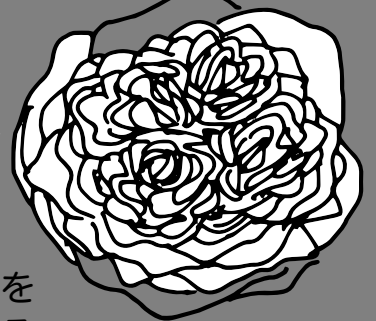
ロゼット咲き



中でも...

花芯が複数にわかれて、それぞれが渦を巻くようになる。

クォーターロゼット咲き



■バラの系統について

バラは長い歴史の中で交配を重ねられてきた植物です。
 そのため現在存在する園芸品種は、約2万品種を超えるといわれています。
 しかし、園芸種の元になった原種は10種程度に集約されていきます。
 これらの血筋を元に、大まかな特徴のグループに分類しているのが「バラの系統」です。
 当館で栽培されているバラの一覧図にも記号でその系統を示しています。

S	シュラブ	半つる性のバラ 現代バラで木立ち性、つる性どちらとしても扱うことができる。 様々な特性で幅広い系統。
HT	ハイブリッド・ティー	四季咲き大輪系のバラ 直立性の一輪咲きで、花が大きく剣弁高芯咲きの花形。 芳香のあるものが多く、香りのはばも広い。
CL	クライミング	つる性のバラ
FL	フロリバンダ	木立ち性の四季咲き、中輪房咲き フロリ(花)バンダ(束ねる) 房咲きに花をつける。 花形は変化に富んで花色も豊富。四季咲き性が強いのも特徴。
O.G.R	オールドローズ	ハイブリッド・ティーができる以前のバラの系統。一季咲き。
Min	ミニチュア	小輪(2~5cm)、四季咲き、木バラ。樹高は15~50cm。 花つきがよく、繰り返し花を咲かせる。

※バラの系統は上記以外にもありますが、ここでは当館に咲いているもののみを記載します。

●バラの香りの種類について

バラが多くの花色、形を持つにつれて、香りも多様性をもつようになりました。
 バラの香りは分析整理され、基準となる7つの香りのタイプに分類されています。

DC	ダマスク・クラシック	ロサ・ガリカ、ロサ・フェニキアを起源とする。 古典的で、強い甘さと華やかな香り
DM	ダマスク・モダン	ダマスク・クラシックの成分を受け継いでいるが、含有バランスが異なり、 華やかな甘さの中にすっきりとした清涼感がある。 情熱的で、洗練された都会的な香り。
T	ティー	中国由来のロサ・ギガンティア、ロサ・シネンシスが起源。現代バラに多い。 甘い紅茶のような香り。グリーン・バイオレットの香りが基調となり、上品 で優雅な印象。香りの強さは中程度だが、拡散性がある。
F	フルーティー	桃、アプリコット、りんごなどの新鮮な果実をイメージさせるような 爽やかで若々しい香り。
B	ブルー	青バラ系の品種特有の、ダマスク・モダンとティーがミックスされた シャープな香り。
S	スパイシー	ダマスク・クラシックの古典的な甘さを基調としてクローブ(丁子)や カーネーションに含まれる「オイゲノール」という成分を多めに含む。 濃厚な甘さとスパイシーな香りが特徴。
M	ミルラ	ハーブのアニス(八角)に似た香りで、アニスの甘さをやや抑え、青くさを を強めたような特徴をもっている。

品種名	系統	作出国	発表年	特徴等
アクロポリス ロマンティカ	S	フランス	2002	外側は濃いピンク、最終的にはグリーンがかかる覆輪のカップ咲き。枝は長く伸びるのでつるバラ仕立ても可能。名前の由来はギリシャのアテネの神殿(世界遺産)からきている。
アシュラム	HT	ドイツ	1998	茶色を帯びた濃いオレンジの花色で丸弁平咲き。花もちがよく、樹形はコンパクトに育つので鉢植えにも向く。
アプリコット キャンディ	HT	フランス	2007	アプリコット色の半弁高芯咲き。花のもちがよく、雨にも強い。耐暑性、耐寒性、耐病性がある強健な品種。
アメリカン スピリット	HT	アメリカ	1988	濃紅色の半弁高芯咲き。花弁30枚、花径13cm程度で、強健種である。
アラン ティッチ マーシュ	S	イギリス	2005	ローズピンクの八重咲き。耐病性に優れ、落ち着いた温かみのあるオールドローズの香りとともに大輪を咲かせる。
アロマテラピー	HT	アメリカ	2006	濃い桃色の剣弁高芯咲き。フルーティーな強香をもつバラで、花が開花するとともに、うっとりするような香りが空気を満たす。まさに、「アロマテラピー」である。
アングル ウォルター	CL	イギリス	1963	濃赤の剣弁高芯咲き。濃い赤の大輪の花。花付きが良く丈夫で、寒冷地での栽培にも適している。昔から愛されている赤のつるバラの銘花。
アンドレ グランディエ	HT	フランス	2011	ライトイエローの丸弁平咲き。花付きが良く、黒星病に強い稀少な黄色系品種で、樹勢も良く、育てやすい。花名は池田理代子原作「ベルサイユのばら」に登場する「アンドレ」に由来する。最後まで愛するオスカルに暖かく寄り添った、アンドレの強く深い愛を秘めた心を表現したといわれる。
いろは	FL	日本	2010	濃赤中心白、裏弁白の丸弁平咲き。花弁の赤色と、中心や裏側の白色のコントラストが鮮やか。
ウィリアム シェークスピア 2000	S	イギリス	2000	黒赤紫色の房咲きでカップ咲きからロゼット咲きとなる。強い香りがありモダンダマスク香にレモン香がのる。
ウーメロ	S	フランス	1996	フリルの花が咲き乱れふわっと香りが漂う。冬に1m弱に剪定して仕立てると管理しやすく、花付がよい。1996年ハーグ国際コンクール金賞。
歌姫:うたひめ	HT	日本	1992	濃ピンク色で丸弁高芯咲き。香りのバラとして「ポプリ」等に魅力のある品種。
ウルメール ムンスター	CL	ドイツ	1983	ビロード赤の半弁高芯咲き。大輪の花を咲かせ、大変華やかな空間を作る。寒冷地にも適し、枝は固くフェンス向き。花名はドイツの都市ウルムにある大聖堂からつけられた。
エル	HT	フランス	1999	フランスの有名女性誌「ELLE」にちなんで名づけられたバラ。外弁がウォームピンクで中心が杏色と、豊かな色彩が微妙にいりまじる丸弁抱え咲き。
王妃アントワネット	HT	フランス	2011	ローズピンクの波状弁抱え咲き。甘い、華やかなティーローズの香りを開花とともに放つ。耐病性に優れ、枝の発生が良く、元気な株に成長する。花名は池田理代子原作「ベルサイユのばら」に登場する「マリー・アントワネット」に由来する。フランス最後の王妃マリー・アントワネットの華麗さと優雅さを表現したといわれる。
オーギュスト ルノアール	HT	フランス	1995	濃いローズピンク色で、剣弁高芯からロゼット咲きになる。ダマスク系の香りが魅力的である。フランスの印象派画家の名をつけた花である。
オクラホマ	HT	アメリカ	1964	紫がかった黒紅色の半弁平咲き。濃厚な香りを放つ早咲き性の強健種。
オスカル フランソワ	HT	フランス	2004	白色の剣弁高芯咲き。花首の長さ、葉、莖のバランスが良く、整った樹形に育つ。耐暑性、耐病性にすぐれる稀少な白バラ大輪品種。花名は池田理代子原作「ベルサイユのばら」に登場する「オスカル・フランソワ・ド・ジャルジェ」に由来し、フランス革命の時代を情熱的に生きた男装の麗人の面影を表現したといわれる。
オリビア	HT	ドイツ	1994	濃い赤色の半弁高芯咲き。花弁数32~35枚、花径15cm程の花となる。花枝が長く、切花に向く。
薫乃:かおるの	FL	日本	2008	ソフトページュのカップ咲き。ダマスク系とティー系の混合した上品で素晴らしい香り。花名の「薫乃」は、芳ばしい薫りとその花姿の美しさから名付けられた。
カクテル	CL	フランス	1957	花付きがよく、耐病性に優れている銘花。枝が太くないため様々な誘引や仕立てができる。ラティス、アーチ、ポール、低いフェンス、シュラブ仕立てに向く。
かぐや姫	HT	日本	1998	生育旺盛でベサールシュート(株元から勢いよく出てくる新芽)が多く発生し、フルーティさを含むティーの香りが大変良い。1996年JRC「香りの大賞」受賞。
カトリヌ ドゥ ヌーブ	HT	フランス	1981	フランスの著名な女優にちなんで命名された品種。半弁高芯咲きで、花色は珊瑚色。
加茂:かも	HT	日本	1978	ピンク色で、弁端がやや紅色の丸弁大咲き。香りは中香。「加茂川」にちなんで名づけられた。
キャラメル アンティーク	HT	ドイツ	2005	ハニーイエローから杏色を含んだ花色。咲き始めはカップ咲きで、咲き進むと中心部の杏色が濃いクォーター咲になる。花弁数もたっぷりの大輪でボリュームがあり、開ききるまでのプロセスを楽しめる。すっきりとしたティーの心地よい香りがある。
キャロリーヌ ドゥ モナコ	HT	フランス	1989	アイボリー色で典型的な剣弁高芯咲き。数輪の房咲きになることが多く、多花性である。モナコ公国カロリーヌ王女に捧げられたバラ。
金蓮歩:きんれんぽ	FL	日本	2007	淡黄の半八重咲。早咲きで、黒点病・うどんこ病に強い強健種。
クイーン エリザバス	HT	アメリカ	1954	澄んだピンク色の丸弁抱え咲き。弁質がよく、花もちもよい。耐暑性、耐寒性に優れた強健種。品種名は、英国のエリザバス女王にちなんで名づけられた。
グラフ レナート	HT	フランス	1991	明るい赤色の半弁高芯咲き。花径は13cm程である。花つきがよく、耐病性に優れる。
クラリス	S	ドイツ	2018	清楚なオフホワイトの蕾は、開花につれ中心に杏がかつたピンクがのる。花付き、花持ちがよく、房で咲く。枝がまっすぐ伸びる樹形で、小型のツルでも使える。
クリストファ コロンボ	HT	フランス	1992	オレンジ色がかった明るい朱色の半弁高芯咲き。花もちのよい品種である。アメリカ新大陸の発見者であるコロンブスにちなんで命名された。
グレーテン トースト レッド				調査中
黒真珠:くろしんじゅ	HT	日本	1988	濃深黒色の半弁平咲き。花つきがよく、黒バラとしては日焼けに強い。
黒蝶:くろちょう	FL	日本	2005	深みのある黒赤色のロゼット咲き。花保ちがよく、株はコンパクトにまとまり、鉢植えにも向く。
恋きらら	FL	日本	2018	濃黄色のカップ咲き。ブーケのような房になり、繰り返し咲く。花枝にはとげが少なくまっすぐ伸びるので、切り花としても楽しめる。
香貴:こうき	HT	日本	1995	サーモンピンク色の剣弁高芯咲き。デリケートな花色とスパイシーな香り(強香)が魅力である。多花性で、株立ちのよい強健種。
ゴールドン ボーダー	FL	フランス	1987	花付きが良く香りがあり、棘も少なく扱いやすい品種。より多くの花を咲かせるには、夏は花摘みのみ、冬も深く剪定しないのがポイント。
ゴールド パニー	FL	フランス	1978	黄色のフロリバンダの代表種。丸弁カップ咲きで、弁先は波打つ。花もちがよく、ほとんど褪色しない。
ゴルデルゼ	FL	ドイツ	1999	黄金色の中輪花、半弁高芯咲きからロゼット咲き、平咲きに近い状態まで長く花を楽しむ。花名はベルリンの有名な戦勝塔の女神像の愛称にちなんでいる。
コロラマ	HT	フランス	1980	整った美しい花形で、花弁の表が赤色、裏がクリームイエローの複色花。典型的な剣弁高芯咲きで、弁端は手で巻いたかのようにとがる。
コンスタンツェ モーツァルト	FL	ドイツ	2012	やさしい色あいの中大輪で、丸弁高芯咲きから開くとクォータードに変わり、5輪ほどの房で咲く。黒星病、うどんこ病にとても強く、夏の暑さにも耐えよく育つ、栽培しやすい品種。モーツァルト夫人の生誕250周年に因んで名づけられた。2011年ローマ国際コンクールFL部門金賞、他。
コンラッド ハンケル	HT	ドイツ	1983	光沢のある緋赤色の剣弁高芯咲き。花の形が整っており、深い緑の葉と赤い花弁が調和したバラである。
彩雲:さいうん	HT	日本	1980	ピース系の巨大大輪で、半弁高芯咲き。花色は、黄色の上に橙赤の覆輪がのる。

品種名	系統	作出国	発表年	特徴等
桜衣：さくらごころも	CL	日本	2019	ピンクのロゼット咲き。春の花付きがとてよく、短い枝にも花が咲く。花名は、沢山の花が株を覆いつくし、桜色の衣を身にまとった様に見えることから名付けられた。京成バラ園芸創立60周年記念花。
サニー サウス	O.G.R	オーストラリア	1918	淡いピンク色の平咲き。花径は6～10cmで、香りが強い。
サハラ'98	CL	ドイツ	1996	黄色からだんだんオレンジ色に色のりし、最盛期は見事な景観を作り出す。秋にもよく咲く丈夫で使いやすい品種。
サマー レディ	HT	ドイツ	1992	淡いサーモンピンクの整った剣弁高芯咲き。株が強健で、花つきがよい。夏でも樹勢が衰えず、花立ちのすばらしい品種。
さらさ	FL	日本	2009	桃から桜色の半八重咲き。花名の「さらさ」は、優しい春風の音をイメージして名付けられた。
賛美：さんび	HT	日本	1991	花色は淡いサーモンピンクで、花芯は桃色。満開となっても花形がくずれない剣弁高芯咲きの整形花である。花もちがよく、切り花に適している。
サンライトロマンティカ	FL	フランス	2005	非常に分枝が多く、株が花で覆われる。強い香りもあり黒星病に耐性がある強健種。
シーザー	CL	フランス	1993	ピンクの花色のロゼット咲き。花色は外弁ほど淡くなる。弁質のよい波状弁で、雨に強い。花もちがよく、扱いやすい。
紫雲：しうん	HT	日本	1984	濃い赤紫色の剣弁高芯咲き。花もちがよく、整形が長く続く。花付きは多く、連続的に開花する。
ジェントル ハーマイオニー	S	イギリス	2005	ピンクのカップ咲き。ハーマイオニーはシェークスピアの「冬物語」に登場するリオンデイズ王の献身的な妻の名から付けられた。
しのぶれど	FL	日本	2006	藤色の丸弁咲き。奥ゆかしい花色・花形で、「和」の雰囲気を感じさせる。花名は平兼盛の和歌「しのぶれど 色に出でにけり わが恋は」の中の忍が恋心をイメージしている。ダマスクモダンにティーを含ませた香り。
ジャスミーナ	CL	ドイツ	2005	ピンクのクォーターカップ咲き。耐寒性、耐病害虫性に優れ、丈夫な品種。ハート型の花弁が愛らしい。
ジャルダン ドゥ フランス	FL	フランス	1998	蛍光を放つような美しいサーモンピンクの花弁をもつ。非常に多花性で、大きな房になって咲く。花名は、「フランスの庭」の意味。
シャルル ドゴール	HT	フランス	1974	濃いラベンダー色の丸弁高芯咲き。香りが強い。樹高が低めで、がっちりとした株に育つ。元フランス大統領の名をつけた花。
秋月：しゅうげつ	HT	日本	1982	純黄色の半剣弁高芯咲き。花弁数38枚、花径15cm程の花となる。名は「中秋の名月」からきている。
ジュビリー セレブレーション	S	イギリス	2002	ピンクの八重咲き。丈夫で病気になりにくく、次から次へと花を咲かせる。エリザベス女王の即位50周年であるゴールデンジュビリーの記念に生まれた。
シュベールバルク	HT	ドイツ	1999	花名は、ドイツのフォークソンググループにちなんでつけられた。(現地の方言で「ゲーム」の意味。)黄に赤の色がのるユニークな色の半剣弁高芯咲き。
ジュリア	HT	イギリス	1976	茶系のバラの代表花。独特でやわらかな波状弁と、その花色から女性に人気が高い。香りは強くないが、品の良い香りがする。
ジョージベスト	S	イギリス	2007	緋赤色の半剣弁高芯咲き。黒点病にも非常に強く、ローズヒップ(バラの実)も出来にくい。ため手入れが楽である。名前は北アイルランドのサッカー選手にちなむ。
ジョン ウォーターラー	HT	イギリス	1970	ピロードのような緋紅色の半剣弁咲き。花弁が厚く花もちがよい。耐病性に優れた強健種。香りは中香。
スウィート ジュリエット	S	イギリス	1989	杏色がかかったオレンジ色で、カップ咲きからロゼット咲きに変化する。2～3輪の房咲きで、ティー系のさわやかな香りがある。
スールテレーズポート	HT	フランス	1931	澄んだ卵黄色の半剣弁カップ咲き。四季咲きの香り系の面影をもった柔らかい花である。
スカボロ フェア	S	イギリス	2003	ピンクのカップ咲き。耐寒性に優れ、たいへん育てやすく丈夫な品種。小さなカップ形の花が、連続的に開花する。
聖火：せいか	HT	日本	1966	日本作出バラの代表花。農林水産省品種登録第1号の品種。白地に濃ローズ色の覆輪があるが、開花とともに全体がやや赤くなる。東京オリンピックを記念して名づけられた。
清涼殿：せいらいようでん	HT	日本	1961	剣弁高芯咲きで、柔らかいピンクを弁全面にほかした花色である。弁数40枚、花径14cm程になる。
セツコ	HT	日本	1996	クリーム色に花芯がオレンジ黄色の剣弁高芯咲き。整った花形で、中香である。
ソニヤドール	CL	イギリス	2011	濃紫の丸弁平咲き。耐病性に優れる。花名は、スペイン語で「夢みる者」の意味。
ソレイユ ロマンティカ	CL	フランス	2010	桃色のカップ咲き。とげが少なく、柔らかい枝はまっすぐ伸び、誘引しやすい。うどん粉病、黒星病に強い。
ダイアナ プリンセス オブ ウェールズ	HT	アメリカ	1998	故ダイアナ元英国皇太子妃を記念したバラ。クリームイエローの花弁にピンクから珊瑚色かかるとなる。わずかに香りがある。
大文字：だいもんじ	HT	日本	1981	朱赤色の大輪種。剣弁高芯咲きで、花弁は厚い。
ダイヤモンド ジュビリー	HT	アメリカ	1947	アイボリー色の半剣弁高芯咲き。白バラの代表的な花で、多花性である。香りが強い。
たつこ姫	HT	日本	2002	未発売種で、本館で試験栽培中の品種。秋田県を代表する湖「田沢湖」の主とされる「たつこ姫」の名をつけた。
ダブル デイライト	HT	アメリカ	1977	「二重の喜び」という意味の名。アイボリー色の花弁の縁に鮮やかな赤色かかるとなる。二つの色と香りを楽しめる「トリプルデイライト」と言ってもいい品種である。早咲きの強健種。
丹頂：たんちょう	HT	日本	1986	開花につれて花弁先の赤みが濃くなる。白い花弁の先に紅がさす姿がツルのタンチョウを思わせるため、この名がついた。
チャールストン	FL	フランス	1963	色変わり品種の代表種。咲き始めはほぼ黄色で弁端が少し赤みがかかる。開くほどに弁端の赤が広がって行く。
チャイコフスキー	HT	フランス	2000	ロシアの著名な作曲家にちなんで命名された品種。花色はクリームイエローで、中心が黄色を帯びる。半剣弁ロゼット咲きのバラである。
ツル ゴールド バニー	CL	フランス	1991	黄色の丸弁カップ咲き。フロリパンダのゴールド・バニーの枝変わり品種。花付きがよく、早咲きで、春以降ぼつぼつ咲く。
ツル サラバンド	CL	フランス	1968	朱色 丸弁平咲き。つるバラの人気品種で丈夫で育てやすい。「サラバンド」は舞曲の一種。
ツル ヘルツアス	CL	ドイツ	2009	ベルベット赤の半剣弁高芯咲き。混じりけのない赤の花色は、数ある赤バラの中でも比類のない美しさ。大輪系「ヘルツアス」の枝変わり種で、花保ちが良い。棘が少ないので扱いやすく、アーチ仕立てなどにすると、美しい花色を間近で楽しむことができる。
ティージング ジョージア	S	イギリス	1998	黄色の咲き～ロゼット咲き。強いティー香があらうつむいて咲く。
デザート ピース	HT	フランス	1992	黄色の花弁の縁が赤く染まる、半剣弁高芯咲き。はっきりした鮮やかな色のバラ。
トイトイト!	HT	ドイツ	2014	赤、黄、白の八重咲き。暑さ、寒さに強く、耐病性にも優れている。花名は、「幸運を祈っています!」という、ドイツのおまじないの言葉で、大事な試験の前、好きな人に告白する前など、うまくいって欲しい時に使う。
ドフト ゴールド	HT	ドイツ	1981	濃黄色の半剣弁高芯咲き。花名が「香る金」という意味で、香りが強い。
ナース マサコ				調査中
ノイバラ	野生原種	日本		日本に古くからある野生のバラ。耐病性、耐寒性、耐暑性、耐乾湿性にも優れ、丈夫よく伸びるためアーチや壁面などに向く。香水の原料になるほか、原種として各種バラの品種改良に使われ、日本では接ぎ木の台木にも使われる。
ノヴァーリス	HT	ドイツ	2010	フライトヴァイオレットのカップ咲き。青バラ系の中では、最も丈夫で病気に強い品種。花名は小説「青い鳥」の作者で、18世紀ドイツの詩人の名前。
白鳥：はくちょう	HT	日本	1989	白色の剣弁高芯咲き。花弁数38枚、花径13～15cm程の花となる。花首が強い。

品種名	系統	作出国	発表年	特徴等
パシュミナ	FL	ドイツ	2008	緑を帯びた白で中心が淡いピンクの花色でカップ咲き。小ぶりの花が房になってところどころと咲き、とても可愛らしい。花もちがよく、株はコンパクトです。うどん粉病・黒点病に強い品種。
初恋:はつこい	HT	日本	1994	白色に、中心が濃ピンク色の剣弁高芯咲き。花弁数は25〜30枚、花径は11〜12cm程。
バット オースティン	S	イギリス	1995	明るいオレンジのカップ咲き。品種名は作者の妻の名前といわれる。
花山吹:はなやまがき	HT	日本	2016	花とバランスのよい大きさの葉。花名は、源氏物語で紫の上を見初めた際の光源氏の衣の色にちなむ。
バナラ パヒューム	HT	アメリカ	1999	クリームベージュ色の剣弁高芯咲き。デリケートな花色によく整った形が調和した美しい品種。中香。
ババ メイアン	HT	フランス	1963	「黒バラ」の名花。剣弁高芯咲きで、ピロードがかかる黒赤色の花弁が特徴である。
はまみらい	HT	日本	1994	明るいサーモンピンク色の剣弁高芯咲き。花弁は中質で30〜35枚、花径は13〜15cmで、やや酸味のある甘い芳香がある。横浜開港150周年を記念して、公募で名づけられた。
晴世:はるよ	HT	日本	1990	上品な淡いピンク色で、弁端が濃くなる剣弁高芯咲き。甘い香りを放つ。バラの育種家・故鈴木省三氏が金婚式を記念して晴世(はるよ)夫人に捧げたバラである。
ハンスゲーネバイン	FL	ドイツ	2009	ピンク色のカップ咲き。耐病性に優れ非常に育てやすい。花名は海外で著名な園芸家。
ピース	HT	フランス	1935(1945)	1935年開発当初の名前は「マダム アントワヌ メイアン」。第二次世界大戦中にアメリカに渡り、戦後1945年に平和への願いを込めて「ピース」と再命名されて世界に広まった名花。交配親として利用されることが多い。クリーム色に紅色の覆輪。
緋衣:ひごろも	HT	日本	1990	濃い赤色の半剣弁高芯咲き。花径は13cm程で、一房に2〜4輪の花をつける。1990年JRCで金賞受賞。
ビブラ マリエ!	HT	フランス	2010	白色の丸弁ロゼット咲き。メイアンと京成バラ園芸の友好50周年を記念して名づけられた。
ビブレバカンス!	FL	フランス	2011	株はコンパクトで多花性な上にセルフクリーン。一株でも華やかでコンテナ栽培に向く。黒星病、うどんこ病に強い。
ピンク サクリーナ	S	フランス	2006	桜色の一重咲き。花名の「サクリーナ」には、「桜のようなバラ」という意味が込められている。
ピンク ノックアウト	FL	フランス	2004	ピンクの半八重咲き。耐暑性、耐寒性、耐病性に優れた強健種。
ファイヤーワークス ラッフル	FL	オランダ	2014	黄色弁で先が赤みがかかる深裂弁ポンポン咲き。春は菊のように細く黄色い花弁の先が赤味がかり、花火のように咲く。夏の高温期には、黄色一色になる。
ファウンテン スクウェア	HT	アメリカ	1993	乳白色の半剣弁高芯咲き。すっきりとした美しさをもつ形の花である。耐病性が強い。
ファビュラス!	FL	アメリカ	2000	絶えることなく咲き続け、耐病性、耐寒性に優る。花名は「素晴らしい!」の意味。植え付け1年目は細い枝が多くであるが、翌年から勢いがついて太いシュート(若枝)がどんどん出てくる。実も楽しめる。
フェルゼン伯爵	FL	フランス	2009	紫の波状弁高芯〜平咲き。中輪系には珍しい強香品種で、シトラスとパーペナを思わせる香りがある。いくつもの花が房になって次々と咲き、美しく蕾が開いていく過程も楽しめる。花名は池田理代子原作「バルサイユのぼら」に登場する「フェルゼン」に由来する。王妃アントワネットの心をつかんだほど魅力的なフェルゼンの、高貴で洗練された姿を表したといわれる。
ブラック ティー	HT	日本	1973	夏は朱赤色、秋には濃い紅茶色に変化する。気温が高くなると赤みが強く出るという特徴をもつ。香りは中香。
ブラック バカラ	HT	フランス	2000	黒赤の半剣弁咲き。花びらが厚くしっかりしている。花もちが良く、花立ちも多いため、切花としても人気の品種。
ブラック マリー				調査中
ブラックゴールド	HT	フランス	2008	ピロード質の黒みがかった茶褐色に、裏弁が黄色という従来にない色彩。濃い緑の葉が大人の雰囲気を出す。
フリージア	FL	ドイツ	1977	鮮やかな濃黄色で、花つきがよい優良種。咲き始めは抱え咲き。咲き進むと弁端が少し剣状になる。フロリバンダ(FL・四季咲き中輪系のバラ)の中では、数少ない香り高い品種である。
プリンセス ドゥ モナコ	HT	フランス	1981	ハリウッド女優からモナコ公国王妃となった故グレース・ケリー妃に捧げられたバラ。白地に鮮やかなピンクの覆輪を見せる。深緑の葉と花の対比が美しい花である。
プリンセス ミチコ	FL	イギリス	1966	美智子上皇后陛下が、皇太子妃時代にイギリスの育種家から贈られたバラ。濃オレンジ色の丸弁で、半八重咲きの大きな房になる。
プリンセスアイコ	FL	日本	2002	敬宮愛子内親王殿下のご誕生を祝して名付けられた。蕾から巻いた花弁が開いていく様子が優雅でとても美しい。花つきが多く、長く咲き続ける。2001年JRC銅賞受賞。
ブルーシャトー	HT	日本	1994	ラベンダー色の整った剣弁高芯咲き。強い芳香がある。花弁の重ねが多く、ボリュームがある。花もちがよい。
ブルー パヒューム	HT	ドイツ	1977	赤みの強いラベンダー色の丸弁高芯咲き。数輪の房咲きで、花つきがよい。濃厚な香りがある。
ブルー ムーン	HT	ドイツ	1964	藤色の代表的品種のひとつ。ラベンダー色の半剣弁抱え咲き。強い芳香がある。
ブルー ライト	HT	日本	1995	藤色の剣弁高芯咲き。藤色の美しい花形と、素晴らしい芳香を併せ持った品種。
フレグラント アプリコット	FL	アメリカ	1999	アプリコットの花色、剣弁高芯咲き。花付きが良く、ダマスクムスキの強香をもつ。暑さに強く、夏の花色がすばらしい。
フレンチ レース	FL	アメリカ	1982	アイボリーホワイトの波状弁咲き。花形、花保ちが良く、強健な株。
ベビー ロマンティカ	FL	フランス	2003	オレンジとピンクが交じり合った色のロゼット咲き。房咲きで花付のよい品種で、花もちもよくアレンジメントにも向く。
バルサイユのぼら	HT	フランス	2012	真紅の剣弁高芯咲き。うどん粉や黒点病にも強く、丈夫で育てやすい。花名は池田理代子原作「バルサイユのぼら」に由来する。ピロードのようになめらかで、つややかな輝きを帯びた真紅の大輪花は、情熱的な「バルサイユのぼら」の世界を表したといわれる。
ヘンリー フォンダ	HT	アメリカ	1995	深い黄色の剣弁高芯咲き。褪色が少なく、純黄色の強健種。黄色のバラを愛した米国の名優ヘンリー・フォンダに捧げられた。
芳純:ほうじゅん	HT	日本	1981	香りのバラの代名詞。素晴らしい香りがあり、化粧品メーカーがこの花の香りと同じ香水を合成した。サーモンピンクを帯びたローズ色の半剣弁高芯咲きで、ボリュームのある花を咲かせる。
ボニカ'82	S	フランス	1982	株全体を覆うくらいに花がつく。耐寒性に抜群に優れ、少なめの日照でも育つ。2003年世界バラ会連合殿堂入り。
ホリデー アイランド ビオニー	HT	オランダ	2013	白地にピンクの覆輪の丸弁ロゼット咲き。白地にローズピンクが、絵の具を吹き付けた模様のようにのり、華やかな中にも可愛らしい雰囲気を持つ。
ボレロ	FL	フランス	2004	淡いピンク色のロゼット咲き。花びらがふんわりと重なり、繊細な印象を受ける。病気に強く、樹形がコンパクトなため鉢植えにも向く。
ホワイト クライマー				調査中
ホワイト クリスマス	HT	アメリカ	1953	アイボリー色の半剣弁高芯咲き。白バラの代表的な花で、多花性である。香りが強い。
マウント ジャスター	HT	アメリカ	1963	白い半剣弁高芯咲き。花名は、アメリカにある、不思議な力を持つといわれている山の名前。耐暑性、耐寒性に優れ、病気にも強く強健に育つ。
マキシム	HT	ドイツ	1994	半剣弁抱え咲き。クリーム色に濃いピンクの覆輪が目を引き。花弁が丈夫である。
正雪:まさゆき	HT	日本	1992	花径が20cmを超えることもある半剣弁の巨大輪。白色の強健種で、梅雨時でも安定的に開花する。
マドモアゼル メイアン	HT	フランス	2016	オレンジがかかったピンクの丸弁ロゼット咲き。メイアン家の女性たちへのオマージュとして捧げられたバラ。

品種名	系統	作出国	発表年	特徴等
マヌウ メイアン	HT	フランス	1979	濃いローズピンク色の半剣弁盃状咲き。房咲きで花つきのよい丈夫な品種である。
マルコポーロ	HT	フランス	1993	黄色に薄いオレンジ色が入る半剣弁高芯咲き。樹勢が強く、丈夫な品種である。花色が「黄金郷」をイメージさせることからこの名がつけられた。(マルコポーロ東方見聞録から)
万葉：まんよう	FL	日本	1988	中輪系としては大きめの輝くようなオレンジ色の花を咲かせる。強健で耐病性に優れ、オールドローズのように波打つ花びらが優美。万葉の時代をイメージした花。
ミクランジェロ	HT	フランス	1997	ルネッサンス期の画家の名をつけた花。花色は、ミモザのような鮮やかな黄色である。褪色が少ない。クラシカルな形と鮮やかな色がマッチした花である。
ミスター リンカーン	HT	アメリカ	1964	黒紅の半剣弁高芯咲き。黒バラ芳香種として長い間人気を保っている。耐病害虫性に優れ育てやすい。
魅惑：みわく	HT	日本	1988	花弁の縁にピンク入る半剣弁高芯咲き。やや緑がかかった白地にピンクのふちどりが非常に美しくあらわれる。香りも強く、花つきのよい、耐病性に優れる。
夢想：むそう	HT	日本	1999	オレンジ色で外弁にピンク色がのる美しい巨大輪。咲ききっても花形が乱れない気品ある花である。強健種。
女神：めがみ	HT	日本	1980	柔らかいピンク色の剣弁高芯咲き。花もちがよく、コンテストに向く花である。
メモアー	HT	ドイツ	1992	クリーム白色の半剣弁咲き。花弁数30～35枚、花径10～12cm程である。芳香種。
モニカ	HT	ドイツ	1985	濃橙色で、裏弁が黄味かかる剣弁高芯咲きの中大輪種。花枝が長く、切花にも向き、育てやすい。
桃香：ももか	HT	日本	2010	桃色の半剣弁高芯咲き。花立ちが多く見ごたえがある。香りが強く「上品で優れた香り」と評された。
ヨハン シュトラウス	FL	フランス	1996	花名は、19世紀の有名な作曲家の名前である。中心がソフトピンクに染まるアイボリー色の丸弁平咲き。柔らかく繊細な色彩が魅力的な品種である。
ライラック ビューティ	HT	フランス	2005	グレーがかかったラベンダーピンクと赤藤色の覆輪、丸弁高芯咲。甘い香りに、シトラスのフレーバーが感じられる。うどん粉病に強い。
ラバ グールド (ラーバグルート)	FL	ドイツ	1978	深みのある濃赤色で、浅いカップ咲きからゆるい抱え咲きのように開く。咲き始めは黒みがかった見える。多花性で大きな房となる。
緑光：りょっこう	FL	日本	1991	丸弁カップ咲き。淡い緑色のつぼみは開花すると白色になり、のちに再び淡い緑色になる。花もちがとてよい。
ルージュ ピエール ドゥ ロンサール	CL	フランス	2002	クリムゾンレッドのロゼット咲き。ゴージャスな大輪で、濃厚な香りが楽しめる。
ルージュ メイアン	HT	フランス	1983	ベルベットのような質感の緋赤色の半剣弁高芯咲き。花弁数30枚、花径13cm程の花となる。花茎が長く、切り花に適している。
令の風	HT	日本	2020	波状弁の花姿が涼しげな風をイメージ。新しい時代の風を受けながら優雅に咲く様子は凛として美しい。直立性の大輪花で柔らかなラベンダー色。とげが少なくわずかな香りもある。
レッド スター	HT	イギリス	1974	輝きのある真紅の剣弁高芯咲き。様々な品種が開発されている現在でも、不動の人気を保ち続ける真紅バラ。中香。
レッド デブル	HT	イギリス	1967	赤色の剣弁高芯咲き。赤バラの代表花の1つで、コンテストに向く。葉は光沢があり、強健で栽培しやすい品種。
レッド ミニモ	Min	オランダ	1986	緋赤色で半剣弁高芯咲き。多花性で、花もちがよい。
レッド レオナルド ダヴィンチ	FL	フランス	2003	ルネッサンス期の天才芸術家の名をつけた花。濃いローズピンクのクォーターロゼット咲き。花弁が厚く堅いため、雨による傷みがほとんどない。花つきがよく、数輪の房になって開花する。
ローゼンドルフ シュバリアースホップ	S	ドイツ	1988	ライトピンクの一重咲きで、弁端が波打つ。大きな房咲きとなり、花数は多い。花もちがよく、春以降秋まで繰り返し開花する。
ロココ	CL	ドイツ	1987	繊細な色彩と波打つ花弁が優美な人気品種。伸長力に優れ、寒冷地では優れたブッシュローズとしても重宝する。フェンスやトレリスに誘引したり、壁一面に咲かせて楽しめる。
ロザリー ラ モリエール	FL	フランス	2014	桜ピンクのロゼット咲き。耐病性に優れ、丈夫で良く育つ。花名は池田理代子原作「ベルサイユのばら」に登場する「ロザリー」に由来する。「私の春風」と言われた少女ロザリーの、可憐、清純な人柄をそのまま表したといわれる。
ワイルド エドリック	S	イギリス	2005	マゼンタ・ピンクの半八重咲き。ハマナスを先祖に持つ、イングリッシュローズ。強いオールドローズ香も特長。非常にタフで丈夫な品種。
和音：わおん	FL	日本	2004	花の中心に明かりを灯したような黄色が印象的な花をたくさん咲かせる。楚々とした雰囲気、さまざまな花や演出したい場所に調和し、「和音」を奏でるかのよう。ぎふ国際ローズコンテスト銀賞及び世界バラ会連合特別賞受賞。